

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
ぶらいど21助成事業活用 団体会員数	人/年	866	223	6	85	0	300	2	毎年2～3団体の相談・申請があるものの、所属会員数により増減があるため、指標に大きなばらつきが出ている。
地域づくり研修会等参加 者数	人/年	414	423	641	585	311	400	1	令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策により、会場の関係から参加者数を制限せざるを得ない状況であったため減少となった。
地域行事・活動に参加し ている市民の割合	%	60.9	64.3	60.5	63.8	59.9	70.0	2	自治会に対し地域活性化活動奨励事業等補助金等を出すことで活動を促しているが、少子高齢化や行事・活動内容も固定化による参加者の偏りがみられる。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策により、地域の行事・活動が中止・縮小されていることから減少したと思われる。
地域運営協議会設置数	地区	3	3	4	4	4	4	2	中学校区ごとの設置を目指していたが、自治会長を含む各地域の理解と協力より早期に目標を達成することができた。
市民活動支援センター活 用団体数	団体	10	12	11	10	10	20	2	利用団体の構成員について人口減少や高齢化による活動の停滞が見られる。また、新型コロナウイルス感染予防対策により活動の休止や縮小がみられた。
地域おこし協力隊員受入 数	人	9	4	3	2	4	17	1	年間を通して募集をしているが、応募が少ない（ない）状況である。特に今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のための移動制限等もあり、どこの自治体も非常に厳しい状況であった。現在はフリーミッションで募集しているが、協力隊OBより、目的があった方が応募や活動しやすいなどの意見もあったため、今後は目的を明確にした募集をするよう検討している。

ボランティア活動件数	件	1,998	1,956	1,987	1,864	1,824	2,000
ボランティア登録数	団体 個人	78団体 個人240人	78団体 個人240人	74団体 個人220人	74団体 個人160人	73団体 個人150人	80団体 個人270人
ふだんから近所付き合いがある市民の割合	%	69.1	69.3	67.2	71.3	66.9	80.0

3	この指標は、ボランティア団体の登録者数であり、実際の活動件数ではなかった。以前は社協主催のボランティア大学の受講者もカウントしていたが、現在では実施していないため減少している。また、登録者以外の活動については把握できない状況である。
3	ボランティア団体の登録者数を団体と個人にしたものである。上記のとおり、過去実施していたボランティア大学が終了したため、個人での登録者が少なくなっている状況である。社協のボランティアセンターでは、登録者以外の活動については把握できない状況である。
2	少しずつではあるが、目標値に近づいていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のために自治会をはじめとする各種事業の中止・縮小されたり、外出自粛により近所でも集まることができない状況になったことが考えられる。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
市民提案制度実施数	件	3	3	2	2	2	5	2	当初3つの事業で予定していたが2件の応募となった。応募がなかった事業は新型コロナウイルス感染症予防対策により事業実施の見通しが立たなくなったためであった。また、応募があった2件についても、規模縮小等を行いながらの実施となった。 提案事業数については、庁内での制度の浸透率が低いことが予想される。
座談会等の住民参加者数 (延べ)	人/年	143	248	296	186	0	310	1	年度当初に実施を計画していた「令和2年度事業説明会」については緊急事態宣言発出中であったため中止とした。また「市長と語ろう会」についても公民館での座談会方式を予定していたため、コロナの影響により自治会からの要請がなかった。
市民モニターアンケート 回答率	%	72	0	84.8	算定不可	90	90.0	2	施策を支えるような主要な事業となっていないので、事業の統廃合を検討する必要がある。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
男女共同参画フォーラム 等参加者数	人/年	439	246	359	410	66	400	1	男女共同参画について、市民の関心と理解を促進するため、広報活動と学習機会の提供を行うことで、男女共同参画意識の涵養を図る取り組みを継続して行った。講座等の実施にあたっては、男性や若い世代・子育て期にある人、障がいのある人等、多様な人が参加できる機会の確保を目的に週末の開催なども行った。
審議会等における女性登 用率	%	23.6	25.4	24.1	24.5	24.4	30.0	1	審議会等における女性登用率は、ほぼ横ばいに推移している。えびの市審議会等の整理・運営等に関する指針でも女性委員の比率を30%に高めるよう努めると掲げ、庁内各課の取り組みを助長している。事業評価の取り組みを含め、女性登用率向上に向け、今後も継続した取り組みを促進していく。
男女共同参画が推進され ていると思う市民の割合	%	16.9	17.8	16.5	16.4	18.8	40.0	1	平成30年度までは第2次の計画、令和元年からは第3次えびの市男女共同参画基本計画を策定し、男女共同参画の推進を全庁的な取り組みとして行うことで、広く市民への参画と理解を促進している。毎年各課の事業評価を行政推進会議において内部評価とし、その後、審議会による外部評価を受けて、PDCAサイクルによる促進を行っている。市民の関心と理解が深まるように継続する。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
市ホームページへのアクセス件数	件/年	125,289	199,742	203,436	256,316	340,184	155,000	1	平成28年度のリニューアル後、目標値を上回るアクセス件数となっている。 リニューアルに伴いカテゴリ分類の見直しを実施したり、観光ページを作成したことがアクセスの増加につながっていると考えられる。
Facebookページのファン数	件	1,725	1,996	2,103	2,151	2,200	4,000	1	ファン数が少しずつ増えてはいるものの、目標値には達していない。 Facebook利用者への周知不足やSNSが多様化したことにより、Facebook利用者の年齢層があがったことも一つの要因と考えられる。
行政情報がよく伝わっていると思う市民の割合	%	32.6	49.8	44.2	46.5	47.4	50.0	1	少しずつ割合が増加しているものの、目標値には達していない。 ホームページの情報の探しにくさや他の媒体での情報発信の不足が要因と考えられる。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
地域支え合い事業実施自治会数	自治会	48	52	50	52	49	64	1	地域福祉活動事業（地域支え合い事業）の未実施自治会について、モデル事業を実施するなどして、実施に向けた取組を行う。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
出生数	人/年	128	97	112	92	85	157	1	進学や就職に伴う、若者の市外流出に歯止めがかけられない状況や、女性人口そのものが減少する傾向にある中で、未婚率の高さや晩婚化に加え、経済情勢が後退する中で、令和元年度の消費税増税実施や令和2年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済不況により生活に対する不安感が高まり、指標が目標に大きく届かなかったと思われる。
待機児童数（保育所等）	人/年	12	0	0	0	0	0	1	市独自の保育士確保施策の効果により、保育士が確保できたことや、児童数の減少も一因と思われる。
保育料無料化の多子世帯児童数	人/年	97	106	103	110	41	160	2	令和元年10月から保育料の無償化により、3歳から5歳児の保育料が国基準で無償となったため、市独自の保育料無料化の対象児童数が減少したと思われる。
安心して子どもを産み育てやすいと思う市民の割合	%	27.9	23.6	24.9	29.6	34.4	50.0	1	令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化が施行され、割合を高めたものの、単に保育サービスにとどまらず、医療や住環境といった生活全般に及ぶ保護者の多様なニーズに対し、十分なサービス提供ができていなかったため、未達成になったと思われる。また、これまでの情報発信の在り方も、時代に即さなくなったと思われるため、令和3年度は、SNSを使った子育て関連の情報発信に努めていく。

第5次えびの市総合計画 振返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
高齢者クラブ 支援団体数	クラブ	52	51	49	48	47	55	1	役員のなり手不足等により減少傾向にある。
シルバー人材センター会 員数	人/年	182	175	179	196	182	230	1	会員数については、高齢者雇用安定法の改正による定年延長や 継続雇用制度の定着により減少が見込まれる。
タクシー利用券利用枚数	枚/年	9,539	9,675	9,413	8,862	7,934	11,000	1	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響 により、不要不急の外出自粛が影響していると思われる。ま た、令和2年度は578人（R1：616人）にタクシー利用券を交付 しているが、今後も制度の周知広報を図っていく。
シルバー人材センター就 業延べ人日	人日/年	19,387	18,556	14,836	14,566	13,500	26,500	1	会員数については、高齢者雇用安定法の改正による定年延長や 継続雇用制度の定着により減少が見込まれ、令和2年度につい ては、新型コロナウイルス感染症の影響により就業延べ人日も 減少が見込まれる。
介護福祉士就職確保者数	人	7	5	4	4	4	40	3	介護福祉士人材確保については、市内の介護事業所に正職員と して採用され介護福祉士養成施設に入学する際に借り入れた奨 学金の返還に対して支援する介護人材確保事業と市内の介護事 業所へ就職が内定している方の就職を支援する就職支度事業の 2つの事業がある、それぞれの事業で各年度5人の人材確保を 目指し、合計10人を目標に市内介護事業所と連携して人材確 保に努めてきた。就職支度事業については、毎年度4人程度の 需要があり介護福祉士の確保に一定の効果があったと考えてい るが、介護人材確保事業は、奨学金の返還への支援といった限 定的な事業で、また若い人材は都市部へと流れていることから 需要が少なく計画期間において利用者が1人であり、目標達成 には至らなかった。

百歳体操実施会場数	会場	47	55	61	63	62	65	1	介護予防・生きがいつくりの推進のため、高齢者が容易に通える範囲に会場を設け継続的に介護予防に取り組めるよう、全自治会での実施を目標としている。職員が地域に入り込んではずらつ百歳体操の効果を説明し、一緒になって会場の立ち上げを行ってきた結果、ほぼ達成の見込となっている。
介護予防サポーター養成数	人	278	339	385	407	424	480	1	介護予防・生きがいつくりの推進のため、サポーター養成講座への参加を呼びかけているが、養成講座への応募者は年々減少しており、次の興味層へのアプローチ不足が要因と考えてる。
認知症サポーター養成数	人	1,099	1,654	1,747	1,822	1910	1,862	2	地域包括ケアシステム体制構築の一環として、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」の養成に取り組んでいる。幅広い世代に取り組んだことで達成の予定である。
小菜園づくり事業実施自治会数		新規0 継続8自治会	新規0 継続6自治会	新規1 継続3自治会	新規1 継続2自治会	新規1 継続2自治会	新規3 継続10 自治会	1	高齢者の生きがいと健康維持と世代間交流を図るため、未実施自治会に対して利用促進を促す。
生活支援サービス利用者数	人/年	集計なし	集計なし	集計なし	集計なし	集計なし	120	2	地域包括ケアシステム体制構築の一環として生活支援サービスの体制づくりに取り組んでいるが、住民の互助の取組であり、集計できない。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
施設入所者の地域生活への移行者数	人	0	0	0	1	0	1	3	入所等から地域生活への移行については、地域生活を希望する者が地域での暮らしを継続することができるよう、必要な障害福祉サービス等が提供される体制を整備する必要がある。また、施設入所者数は、障がい程度の重度化、介護者の高齢化等により増加している。
福祉施設から一般就労への移行者数	人	0	0	0	2	2	2	3	障がいのある人が地域において自立した生活を送るため、関係機関との連携体制を図り、一般就労へつなげている。
障害者住宅改造費助成件数	件/年	0	0	0	0	0	2	3	介護保険法及び障害者総合支援法に基づく住宅改修費が優先されるため、利用実績がないと考えられる。
障害のある人が安心して暮らせる環境だと思う市民の割合	%	15.2	17.6	18.0	16.1	19.6	30.0	3	障がいのある人の自立と社会参加を支援し、障がいのある人の地域生活・在宅生活を支えるため、訪問系サービスや日中活動系サービス等の充実に努める。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
補助対象防犯灯設置総数	灯	1,072	1,073	1,283	1,263	1,277	1,100	2	夜間に起こりえる犯罪の抑止及び安心して住みよいまちづくりのために、各自治会で防犯灯の設置・管理等の整備を行ったことにより、令和3年度目標値については現時点で達成しており順調に進捗している。
犯罪の少ない安心できるまちと思う市民の割合	%	54.6	62.9	64.0	66.7	71.2	70.0	2	えびの地区防犯協会、えびの警察署、各駐在所連絡協議会等の防犯ボランティア団体と連携し、地域の防犯パトロールや子供達の見守り活動、店舗での万引き防止巡回指導や街頭キャンペーン等の広報活動を積極的に行ったことにより、市民の防犯意識の普及啓発及び安心感の向上に繋がったためと思われる。また、宮崎県における刑法犯罪認知件数が年々減少傾向にあることも一つの要因であると思われる。
歩行者等にとって交通が安全と思う市民の割合	%	28.8	24.4	24.2	25.4	30.3	40.0	1	えびの警察署、えびの地区交通安全協会、各駐在所連絡協議会等と連携し、青色パトロールカーによる地域の防犯パトロールや朝の街頭指導、交通安全運動期間中の街頭キャンペーンや広報活動等を積極的に行ったことにより、年々交通事故の発生件数が減少しているところであるが、市民意識は以前として交通事故等に不安を感じているものと思われる。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
消火栓設置総数	基	393	397	401	408	412	410	3	毎年4基の消火栓を設置している。令和元年度は、硫黄山の噴火に伴う河川の白濁に伴い、自然水利として活用できない水利を補うために全部で7基の消火栓を設置した。
防災士資格取得者数	人	39	48	53	56	67	65	1	近年の大規模災害により住民の防災に対する関心が高まっており、積極的に防災士の資格取得に取り組んでいただいた。また、防災士資格取得に向け回覧文書やホームページなどによる広報を実施しており、取得者数の増加につながっていると考えられる。
緊急通報サービス登録件数	件	1,537	1,539	1,623	1,625	1,629	2,000	1	災害時の避難情報発令時に利用している当サービスであるが、不在着信や着信拒否をしていると思われる住民が多く、登録者数の半数にも満たない受信率となっている現状である。そのため、今後はこれに代わるシステムの導入を念頭に置き、防災情報の発信の仕方を見直していく必要があると考える。
さまざまな災害に対し安心して暮らせるとする市民の割合	%	48.3	30.8	29.3	24.9	29.5	60.0	2	近年、全国各地で地震や風水害など大規模災害が発生している。本市においても硫黄山の噴火や近い将来発生するとされる南海トラフ巨大地震のおそれがあるなど、災害に対し安心して暮らせるとする市民の割合が上がらない要因となっているものとする。

第5次えびの市総合計画 振返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認

指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2	関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
国民健康保険税収納率	%	95.34	94.09	93.93	94.95	95.05	95.19	1	未納者に対し早期に催告書を発送し、同時に財産調査を行い財産発見時には差押を速やかに行っていることが未収金額の削減（収納率の向上）に繋がっている。